

公共

指導目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
------	--

教材	教科書：「公共」（東京書籍） 学習書：「公共 学習書」 レポート・学習ノート
----	--

レポート	全6回
面接指導	必要時間数：1時間
放送	全20回（テレビ WEB視聴可）
到達度チェック・試験	中間到達度チェック（9月）・年度末試験（1月）

単位	2単位
評価	【①知識・技能】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックおよび年度末試験での成果にもとづき評価します。 【②思考・判断・表現】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックおよび年度末試験での成果にもとづき評価します。 【③主体的に学習に取り組む態度】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェック、レポート提出状況（提出期限）、スクーリング出席状況（必要時間の出席充足）、放送視聴状況にもとづき評価します。 上記①～③の総合評価により、年度末に5段階で評定を決定します。

月	添削指導（レポート）		面接指導（スクーリング）		放送（NHK高校講座）		オンライン指導	中間到達度チェック 年度末試験
	回（提出期限）	指導単元・項目	週	指導内容・学習活動等	回	内容	内容	内容・範囲
4			1	①オリエンテーション ・公共の学習方法について確認する。				
			2					
4			3	②第1回レポート 指導単元名「青年期を生きる私たち」 学習目標「アイデンティティの概念を説明し、自分自身の成長や将来の生き方について考えることができる。」 ・教科書p.10～11の青年期の特徴を理解し、「第二の誕生」と「アイデンティティ」について考えを深める。現代の事例（進路選択など）を交えて、青年期における自己形成の重要性を理解する。	1	社会のなかの自己	オリエンテーション	
			4					
5			1	③第1回レポート 指導単元名「他者とともに生きる人間としてのあり方」 学習目標「社会的存在としての人間の意味を理解し、先人の思想を具体例とともに説明できる」 ・教科書p.22～25のカントやミルなどの思想を理解し、目的論と義務論について考えを深める。	2	共に生きるための倫理		
			2		3	私たちの民主的な社会		
5			3	④第1回レポート 指導単元名「公共的な空間における倫理」 学習目標「功利主義や義務論などについて理解できる。」 ・教科書p.22～25の功利主義、義務論などの意味を理解し、具体例とともに考えを深める。				
			4					
6	第1回 (6月10日)	青年期を生きる私たち 他者とともに生きる人間としてのあり方 公共的な空間における倫理 公共的な空間における基本的原理	1	⑤第2回レポート 指導単元名「民主政治と私たち」 学習目標「政治に参加することの第一歩が選挙であることを理解できる。」 ・教科書p.72～73の選挙制度について理解する。また、日本の選挙制度の概要・選挙をめぐる諸問題（一票の格差など）について理解する。 ・主権者として大切なことについて、選挙に関わる具体的な事象に触れながら、考えを深める。	4	民主政治と政治参加①		
			2					
6			3	⑥第2回レポート 指導単元名「法や規範の意義と役割」 学習目標「法と社会規範の役割について理解し、社会生活における意義を説明できる。」 ・教科書p.90～91を参照して法と社会規範の役割について理解する。 ・民事裁判と刑事裁判の違いについて、理解をする。	5	民主政治と政治参加②		
			4		6	法や規範の意義と役割		

7	第2回 (7月10日)	民主政治と政治参加 法や規範の意義と役割	1 ⑦⑧第3回レポート 指導単元名「国民の司法参加」 学習目標「三審制や再審制度、違憲審査権 2 の考え方の意味を理解し、その重要性を説明 3 明できる。」 ・教科書p.108～109の司法権の独立という 考え方について、理解する。 4 ・日本の裁判所の種類について、三審制と 再審制度について理解する。 ・違憲審査権とは何かとらえる。司法の課題・国民の司法参加について大切なことについて考察する。	7 市民生活と私法 8 国民の司法参加		
			1 ⑨⑩4月～7月の指導内容の復習 2 3 4			中間到達度チェック実施前の 前半まとめ
9	第3回 (9月30日)	市民生活と私法 国民の司法参加 現代の経済と市場 市場原理における金融の働き	1 ⑪第3回レポート 指導単元名「現代の経済と市場」 学習目標「需要曲線と供給曲線の関係を理 2 解し、均衡価格の意味を説明できる。」 ・教科書p.122の需要曲線と供給曲線につ いて、均衡価格とは何かについてレポート出 3 題範囲内で理解する。 ・市場の失敗にはどのようなものがある か、寡占化・独占化においてみられる事象 をとらえる。	9 現代の経済と市場		
			3 ⑫第3回レポート 指導単元名「市場経済における金融の働 4 き」 学習目標「中央銀行の役割と金融政策の仕 組みを理解する」 ・通貨とはどのようなものか、通貨制度に 3 について概観する。 4 ・直接金融と間接金融の違いについて理解 する。 ・教科書p.136の中央銀行の役割について理 解する。金融政策とは何か、具体例にふれ ながら理解する。	10 市場経済における金融の働き		中間到達度チェック (レポート第1回～第2 回)
10			1 ⑬第4回レポート 指導単元名「財政の役割と持続可能な社会 保障制度」 学習目標「財政の仕組みと課題、社会保障 2 制度の意義と現状を理解する」 ・教科書p.142を参照し、財政とは何か、日 本の財政制度について概観する。 ・歳入の中心である租税について、直接 1 税・間接税の違いを理解し、直間比率の問 題について考える。 2 ・財政の課題について、現在の日本の財政 状況にふれ、考える。 ・教科書p.146～147を参照し、社会保障の 考え方の根拠が、日本国憲法にあることを 理解する。 ・日本の社会保障制度の4つの柱をとらえ る。日本における社会保障制度の課題につ いて、具体例を参照し、考察する。	11 財政の役割と持続可能な社会保障制度		
			3 ⑭第4回レポート 指導単元名「私たちの職業生活」 学習目標「労働基本権と労働三法の意義を 日本国憲法との関連で理解し、雇用環境の 4 変化や現代の労働問題について具体例を踏 まえて考察できる」 ・教科書p.160の労働基本権と労働三法につ いて、日本国憲法と関連させて理解する。 ・教科書p.162の雇用環境の変化、現代の労 働問題について、具体例にふれ、理解、考 察する。	12 働くことの意義と職業選択		
	第4回 (11月10日)	財政の役割と社会保障制度 職業選択 私たちの職業生活	1 ⑮⑯第5回レポート 指導単元名「国際社会のルールとしくみ」 学習目標「国際連合の目的と主要機関の役 2 割を理解し、特に安全保障理事会の仕組み や拒否権について説明できる」	13 労働者の権利と雇用・労働問題		

11			<ul style="list-style-type: none"> ・国際連合の目的について、「国際連合憲章」の条文を参照し、確認する。 3 教科書p.170の国際連合の主要機関について概観する。特に安全保障理事会の役割と常任理事国の拒否権について理解する。 4 国際連合の取り組みと課題について、具体的な事象に触れながら、考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 14 国際社会のルールとしくみ 15 国際社会と平和主義 		
12	第5回 (12月20日)	国際社会のルールとしくみ 国際社会と平和主義 国際平和への課題	<ul style="list-style-type: none"> ⑰⑱第5回レポート 指導単元名「国際社会と平和主義」 学習目標「日本の平和主義の理念を理解し、冷戦期から冷戦後の国際社会と日本の対応について具体例を踏まえて考察できる」 2 教科書p.174の日本の平和主義と冷戦、冷戦後の世界と日本について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 16 国際平和への課題 	年度末試験実施前の後半まとめ	
			<ul style="list-style-type: none"> 3 4 			
1			<ul style="list-style-type: none"> 1 ⑲⑳第6回レポート 指導単元名「グローバル化する国際経済」 2 学習目標「グローバル化の影響について考察し、国際経済について理解する。」 ・自由貿易と国際分業の考え方について理解する。 3 為替レートとは何か、外国為替市場で行われていること、為替レートを決める要因について理解する。 4 ・ヨーロッパにおけるEU発足までの動きとEUの現状について理解する。TPPをめぐる動きについて、具体例をふまえてとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 17 グローバル化する国際経済 18 探究活動① 		年度末試験 (レポート第3回～第4回)
2	第6回 (2月20日)	グローバル化する国際経済 探究活動	<ul style="list-style-type: none"> 1 ㉑㉒第6回レポート 指導単元名「起業家はどのように資金調達をすればよいか」 2 学習目標「金融の基礎を理解し、起業家の資金調達方法を学ぶとともに、これまでの知識を活用して持続可能な社会づくりの方策を探究できる」 ・金融の基礎について理解をする。 4 これまでの得た知識をもとに持続可能な社会づくりをどのようにしたら構築できるかについて探究活動をおこなう。 	<ul style="list-style-type: none"> 19 探究活動② 20 探究活動③ 		
3			1			
			2			
			3			
			4			